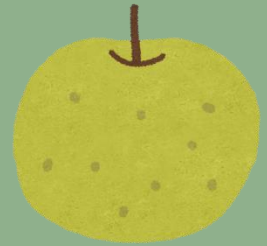


きしくまちづくり 新聞



1

*特集 みんなで考えよう! 「～20年後の自分の町のこと～」

INDEX

- 1 表紙
- 2 特集みんなで考えよう!
「～20年後の自分の町のこと～」
- 3 シリーズ
「岐宿町ってどんなまち？」
昔話～高峰十之進と鰐川橋～
- 4 みんなのページ
～あれこれ掲示板～

☆～岐宿の過去・現在・未来の人口推移グラフから見えてくるものとは～

・・・(詳しくは中面で)

◆岐宿町の人口(9月末現在)

※()は前月比

男性：1,532人 (+4)

女性：1,788人 (+1)

合計：3,320人 (+5)

世帯数：1,716世帯 (+3)

高齢化率：40.72% (-0.03)

*高齢化率とは・・・
65歳以上の高齢者人口が
総人口に占める割合のこと。

わーい!!
人口も世帯数も
増えてる～!



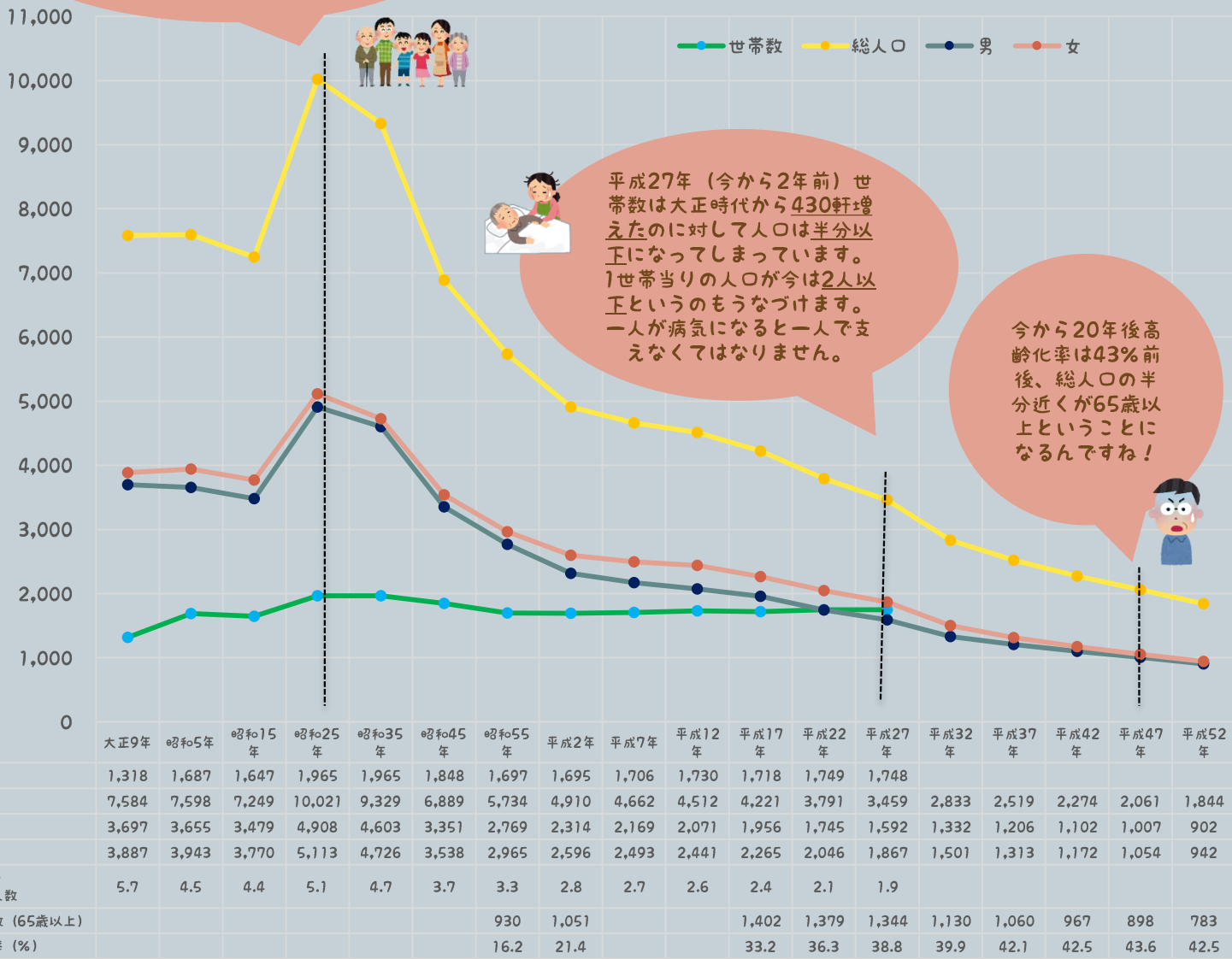


「きしくまちづくり新聞第2号」のシリーズ1回目で掲載しました今現在の**岐宿町の人口と高齢化率**。今回は**大正時代からの人口推移をグラフ化**にしてみました。人口問題研究所が平成25年3月に出した**未来の人口**とも見比べながら皆さんも今一度岐宿町の現状とこれからのことを考えてみませんか。

2

一番人口が多かった昭和25年
一つ屋根の下に平均で5人が暮らしていたことになります。2世帯・3世帯同居が当たり前だった時代ですね。

過去～現在～未来の人口と世帯の動き



平成27年 (今から2年前) 世帯数は大正時代から430軒増えたのに対して人口は半分以上になってしまっています。1世帯当りの人口が今は2人以下というもうなづけます。一人が病気になるひとりで支えなくてはなりません。

今から20年後 高齢化率は43%前後、総人口の半分近くが65歳以上ということになるんですね！

参考資料：1992版岐宿町町勢要覧
2001版岐宿町町勢要覧
(国勢調査・住民基本台帳より)

参考資料：住民基本台帳 参考資料：人口問題研究所

数字が小さくて見にくくすみません。空欄部分は資料がなかったところです。



3世代が同居する「サザエさん」みたいな暮らしが理想ですね・・・



●シリーズ「岐宿町ってどんなまち？」

～住んでいるけど意外と知らない自分の町のこと～



シリーズ3回目は、「旧鰐川橋」についての昔話です。

◆今から約60年前の昭和33年11月5日、五島市で2番目に長い川鰐川 (14,574m) にコンクリート造りの鰐川橋 (延長128m当時県下第3位) が完成しました。

※ちなみに一番長い川は富江の一の川 (15,345m) です。

3

たかみねじゅうのしんとわにがわばし

◆ 高峰十之進と鰐川橋 ◆

岐宿鰐川にこの鰐川橋ができる前まで使われていた、S字の形をした石橋の跡があるのはご存知ですか？

通称「ワンゴンハシ」というそうです。

この橋は高峰十之進の架橋と伝えられているのですが、どうやってこの橋ができたのか、また高峰十之進とはどういう人だったのか、古い書籍からひも解いてみたいと思います。

*参考資料・岐宿町郷土誌・五島の伝説・昔ばなし (著：松山 勇)

◎どうやって造られたの??



鰐川は長崎県最大級の長さ水量を誇る川です。上流に福江島の噴火口であったといわれる山内盆地があり、大雨が降るとすぐに氾濫し何度橋を架けても流されてしまっていました。

策に尽きた村民は藩主に架橋を願いました。藩主は実情を認め、早速高峰十之進に架橋を命令しました。

十之進は大雨の後の増水期に村民を現場に集め、一本の縄を持たせて川の兩岸に立たせました。

その縄を伸ばしたり縮めたりしながら、引っ張る力の最も弱い位置を選ばせ、その縄の通りに竹を立てて橋を架けたと伝えられています。

それから昭和33年 (1958) 新しい橋ができるまでの23年間、石橋は使われました。

新しい橋ができてからは、古い橋を使う者もなく、荒れほうだいとなり、橋材の石が他の用途に使用されたりして次第に形がこわされていきました。

今では南側の一部と川底に位置する石積の基礎部分を残すのみとなりました。

◆石造りの旧鰐川橋は享保7年～10年までの3年の間に作られたのではないかとされています。今からなんと約293年前のことになります。

300年近くもあの場所にあったなんて感慨深いですね・・・

●今度鰐川橋を通る時しみじみと眺めて欲しいなあとはい思うのですが、車の運転にはくれぐれもご注意を!!

◎高峰十之進ってどんな人だったの?



十之進は福島県会津出身、五島藩に仕えたいと志願し受け入れられました。

祐筆を手始めに、御納戸奉公、山奉公、筆頭奉公等を歴任しつつ、殖産、公益事業にも努めました。

福江坂の上の廢地に松を植え風害を防いだり、岐宿、三井楽、玉之浦、大浜、崎山の各街道筋に松並木 (通称：ナンマツ) を作ったり、翁頭山麓に翁頭の池を築いて灌漑に備えたりなど、田畑の開墾、河川の架橋、海岸の築港等に尽力しました。

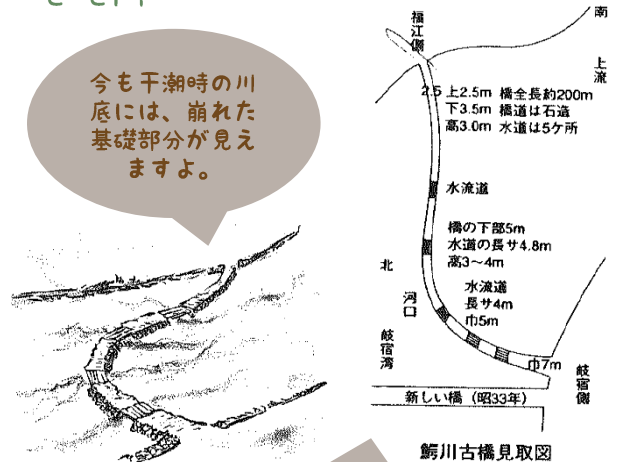
また領主の命を受けて、貞方佐七と共に史跡を調査し、系譜記録その他を編さんするなどの功績も残しました。

五島藩きっての土木の天才で先見の明豊かな大人物だったそうですが、※五島藩の築城問題で罪を得て失脚! 宇久島の西方にある寺島へ流されたということです。



頑張ったのに・・・ヒ・ヒドイ・・・

※今の海陽高校のある辺りへの築城を主張したことが気に入られなかったようです・・・



今も干潮時の川底には、崩れた基礎部分が見えますよ。



新しい鰐川橋! 左方向が河務方面です。



●みんなのページ● ～あれこれ掲示板～



●さんまや新米の美味しい季節になりました●

4

***募集しています!!**



①「座談会しませんか？」 (まち協：町内会活動部会より)

町内会活動部会の事業で、岐宿町の活性化を図るための発想を拾い上げようと、住民との懇談会を計画しています。
公民館や町内会、何の集まりでも結構です。協議会事業の進捗状況報告や、ご意見要望、また事業のアイデアなどを頂く会にしたいと思っておりますので、町内会長さんを通じてご要望下さい。
来年3月まで受け付けていますのでご遠慮なく申しつけ下さい。



②「里親やりませんか？」 (五島南高等学校より)

平成30年から「離島留学」
「人間力をUP↑する！夢トライコース」の受入がスタートします。定員20名
一人ひとりの生徒を大切に、農業・漁業体験や地域の祭りなどに参加し、温かい地域の方々とふれあうことで「社会性」や「生きる力」を育むことを目的としています。大変だとは思いますが、やりがいがあると思います。里親になってもいいよという方、または説明だけでも聞いてみたいという方、まずはご一報下さい。

③空き家バンクに登録しませんか？

市外からの移住者受入の一環として、
移住希望者に空き家を紹介する
「空き家バンク」制度があります。



空き家を貸したい方、売りたい方

※リフォーム代の補助などもありますので、是非一度集落支援員にご相談下さい。

④新聞に載せて欲しいことはありませんか？

「自分はもう使わないけど捨てるにはもったいないので、誰か使ってください」とか、「こんなもの探しています、誰か譲ってください」とか・
地域の皆さんの掲示板としてこの新聞をご活用下さい。***お申し込みは支援員（泉井）まで。**

●お礼●

10月の初めに皆様にお願ひしました「岐宿まちづくりアンケート」ですが、お忙しい中回答へのお時間を作っていただき本当にありがとうございました。これから集計を行うのですが、結果がでましたらまたこの新聞にて皆様へお伝えしたいと思っています。
せっかくの皆様の貴重なご意見を無駄にしないよう、今後のより良いまちづくりに役立てて行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します！
ご協力ありがとうございました。
まだ提出されていない方で、用紙をお持ちの方は支所玄関に回収ボックスが設置されている間は提出できますので、どうぞお持ち下さい。連絡下さればいただきに伺うことも可能です。

●お願い●

12月には、岐宿支所玄関にクリスマスツリーを飾りたいと思っています。ご自宅に使わなくなってしまいこんでいるオーナメント（飾りのも）はありませんか？
(サンタさんとか、星とか、雪だるまとか・・・)
支所玄関に回収ボックスを設置しますので、用事で来られる際お持ちくださったら嬉しいです。
またツリーの設置後でしたらご自由に飾りつけていただいても構いません。
みんなでステキなクリスマスツリーを作りましょう！



@編集後記@

皆さんこんにちは。
岐宿支所、集落支援員の泉井です。
前回の7月号から4ヶ月も経ってしまいました。汗その間何度か台風がありました、皆さん被害はなかったでしょうか？
魚津ヶ崎公園のコスモスは頑張っただけに10月22日の台風にて悲しい姿になってしまいました。涙そして季節はもう秋。あと一ヶ月もすると本格的な冬。あっという間に年末からのお正月・一年が経つのは本当に早いですね。
できれば来月も新聞の発行ができればと思っています。朝晩が冷え込むようになりました。体調管理、お気をつけ下さい。
今回も読んで下さりありがとうございました。
《今回も班回覧ですが欲しい方は支所に置いてます》
文責：岐宿支所集落支援員

